

付 4 技術開発実験センター概要

技術開発実験センター概要

技術開発実験センターは、分流式下水道の実下水を用いたパイロットプラント規模の実証実験のための常設実験ヤードを確保するとともに、民間企業などとの共同研究をさらに推進することなどを目的として、平成 13 年 6 月に開所した。

技術開発実験センターでは、隣接する真岡市水処理センターより送水した分流式下水道の実下水を用いて、比較的規模の大きいパイロットプラント実験を行えるほか、実規模の反応タンクを模擬した多目的水槽を用いて、各種機器の性能試験などを行うことが可能である。令和元年度末までの共同研究による利用件数は 67 者となっている。

技術開発実験センター施設概要

所在地	栃木県真岡市八木岡 1309 番 2
敷地面積	約 13,000 m ²
開所年月	平成 13 年 6 月
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究棟（鉄筋コンクリート造、2 階建） ・ 実験棟（鉄骨造、平屋建）※建設中 ・ 中央実験ヤード（230 m²×9 区画） ・ 多目的実験用水槽（鋼製、幅 6 m×有効水深 6 m×長さ 12 m×1 槽）
実験原水	隣接する真岡市水処理センターより分流汚水を取水 <ul style="list-style-type: none"> ・ 流入下水：740 m³/日（中央実験ヤード 1 区画あたり最大 80 m³/日） ・ 最初沈殿池流出水：540 m³/日（同上 60 m³/日）

施設平面図および中央実験ヤード使用状況（令和元年度末現在）

施設平面図	中央実験ヤード使用状況	
	区画	利用者
	1	荏原実業(株)
	2	—
	3	—
	4	三菱電機(株)
	5	—
	6	—
	7	—
	8	—
	9	—

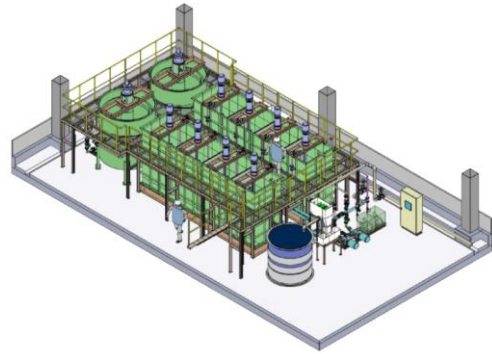
また、「基礎・固有調査研究の中期計画」において、基礎・固有調査研究の実施に必要な施設は、技術開発実験センターに整備するものとしており、現在、実験棟や活性汚泥処理実験プラントなどの実験設備の整備を進めている。

実験棟の建設



工期	R.元.9～R.2.9月竣工予定
構造	鉄骨造平屋建
階高	約7m
床面積	390m ² (13m×30m)
収容設備 (予定)	活性汚泥処理実験プラント 次世代水処理技術実験装置 コンポスト実験装置 等

活性汚泥処理実験プラントの製作・設置



工期	R.2.4～R.2.12月竣工予定
構造	鋼板製
処理方式	標準活性汚泥法
処理能力	日最大50m ³ /日×2系列
使用目的	AIを用いた水処理運転制御技術の実証実験等